

議会だより

発行：岸和田市議会 編集：「議会だより」編集委員会 TEL 423-9668
(市議会ウェブサイト <http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/gikai/>)



桃と桜 そろい咲き(包近町)

市立幼稚園、保育所の再編 再考へ ～新年度予算、関連条例を修正可決～

第1回定例会では、令和2年度一般会計予算をはじめとする新年度関連の議案や人事案件など44件を審議しました。そのうち、市立幼稚園、保育所の再編に関わる予算と条例を修正可決しました。また、庁舎建設特別委員会からは、新庁舎建設に関するこれまでの調査について、中間報告を行いました。

定例会の概要

会期 令和2年2月20日から3月19日までの29日間
本会議1日目(2月20日) 議案説明員の定期報告、監査報告、専決処分報告、専決処分の承認を求める議案の上程、採決
元年度補正予算や工事請負契約締結などの議案の上程、各常任委員会へ付託
一般質問(4面に掲載)
本会議2日目(2月21日) 一般質問
各常任委員会(2月25～27日) 付託議案の審査
庁舎建設特別委員会(2月28日) 特定事件の調査
本会議3日目(3月2日) 各常任委員長から付託議案の審査結果報告、採決

新型コロナウイルス感染拡大防止について

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会議を傍聴する際はマスクの着用や手指の消毒にご協力をお願いいたします。
また、テレビ岸和田やラヂオきしわだでも中継を行っておりますので、ぜひご利用ください。

2年度当初予算案、関連議案の上程
市長の施政方針演説
本会議4日目(3月5日) 総括質問(3面に掲載)
予算特別委員会設置、審査の付託、委員選任
予算特別委員会(3月9～13・16日) 付託議案の審査

市立幼稚園、保育所の再編 に関わる予算、条例を修正

市立幼稚園、保育所の再編とは

【市長の提案理由】

本市では少子化の影響により幼稚園では小規模化が進み、一方で共働き世帯の増加などによる保育ニーズの高まりから待機児童が発生している。これらへの対応のため、市立幼稚園及び保育所を集約し、認定こども園へ再編するという方針のもと、民間事業者による新たな認定こども園を3カ所に設置するものである。

予算特別委員会での審査

市域全体を見据えた計画を示さないまま、個別計画を策定することは問題があるとの理由から、市立幼稚園、保育所の再編に関わる予算を減額し、関係条例の一部を削除する修正案が提出されました。

【修正に賛成の意見】

○再編にあたっては、全体像を示すとともに、公立施設の役割を明確にし、地域の拠点施設として残すべき。
【修正に反対の意見】
○保育ニーズも年々増え続

本会議最終日(3月19日) 庁舎建設特別委員会の間報告
予算特別委員長から2年度当初予算案、関連議案の審査結果報告、討論、採決
副市長の選任、教育長の任命
議会運営委員会による閉会中の継続調査の可決

本会議での審議

採決の結果、賛成多数により修正案が可決されました。これにより、市立幼稚園、保育所の再編に関わる予算841万8千円と、関係条例の一部が削除されました。

【賛成討論】

○待機児童解消のために、施設の再編を進める必要があることは十分理解しているが、まずは市域全体を見据えた計画を策定すべき。

【反対討論】

○施設再編には流動的な要素が多々含まれており、市域全体の計画を示すことは難しい。安心できる新しい施設とするため、計画を推進すべき。

○待機児童解消は喫緊の課題であり、認定こども園の開園先送りは保育ニーズに逆行する。子育て世代の立場で考えると、計画を先送りできるはずがない。
※議案に対する議員の賛否は2面に掲載。

【予算特別委員】

- 〇〇
副委員長
- 〇〇
委員長
- 今雪河岩桑西殿堂倉田鳥
口本合崎原田本本田中居
千清雅佳武マリ啓賢市宏
代子浩馨秋一史子祐郎子次

本市においては財政が硬直化し、依然として厳しい財政状況が続くなか、子育て世代への支援拡充や、市民の健康を守るための予防対策の取り組みについては評価されている。しかし、市立幼稚園及び保育所の再編計画については、市域全体を見据えた計画を示さないまま、個別計画を策定することには問題があるとの理由から、当該予算を減じ、関係条例の一部を削除する修正案が提出された。採決の結果、市立幼稚園、保育所の再編に関わる予算と条例については賛成多数をもって原案を修正し、その他の議案については満場一致を持って原案を可とすることに決定した。

会議の詳細は
ウェブサイトで

本会議や委員会の会議録を市議会ウェブサイトに掲載しています。また、録画中継も掲載していますので、ぜひご覧ください。

岸和田市議会

検索



審査過程での
主な意見・要望

予算特別委員会
委員長報告

賛否が分かれた議案

公…公 明 党 次…次世代政策会議
共…日 本 共 産 党 維…大阪維新の会
誠…誠 和 ク ラ ブ 未…きしわだ未来

○…賛成 ×…反対 (議長は表決しません)

件 名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	結 果
	議 員 名	倉田中	堂本	殿本	反甫	宇野	鳥野	南	井舎	友永	西田	桑原	岩崎	河合	米田	京西	松本	岡林	雪本	鳥居	稲田	中井	岸田	今口		
	会 派 名	維共	維共	維共	誠未	誠未	維共	維共	公次	公次	公次	公次	公次	公次	公次	公次	公次	公次	公次	公次	公次	公次	公次	公次	公次	
議案第 17 号	教育委員会の教育長任命につき同意を求めるについて（大下達哉氏）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	×	同 意
議案第 22 号	岸和田市附属機関条例及び特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について 修正案及び修正部分を除く原案	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
議案第 35 号	令和 2 年度岸和田市一般会計予算 修正案及び修正部分を除く原案	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
議案第 45 号	副市長選任につき同意を求めるについて（堤勇二氏）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	×	同 意

全会一致で可決した主な議案

議案番号	件 名 ・ 内 容	議案番号	件 名 ・ 内 容
議案第1号 議案第2号	専決処分の承認を求めるについて(指定管理者の指定について(岸和田市営自転車等駐車場))	議案第28号	岸和田市立総合通園センター条例の一部改正について
議案第4号	令和元年度岸和田市一般会計補正予算 文部科学省が推進するGIGAスクール構想に基づく、全ての市立小中学校への高速通信ネットワークによる校内LANの整備や、局地的なゲリラ豪雨による冠水への対応のための下松駅付近のアンダーパスへの電光掲示による注意喚起看板の設置などを行うための補正予算です。	議案第30号	岸和田市立消費生活センター条例の一部改正について 6月1日に移転する消費生活センターの位置を別所町三丁目12番1号(保健センター内)とするものです。
議案第12号 ～議案第14号	工事請負契約の締結について 岸和田競輪場の施設整備工事のため、建築、電気設備、空調設備について、それぞれ工事請負契約を締結するものです。	議案第31号	岸和田市営住宅条例の一部改正について 市営住宅を集約する建て替えを実施していることから、上松住宅及び神須屋住宅を廃止する。また、市営住宅への入居に際して保証人に関する事項を不要とするものです。
議案第19号	岸和田市健全な財政運営に関する条例の制定について 健全で規律ある財政運営を確保し、市民福祉が向上するよう、財政運営の基本的事項を定めるものです。	議案第36号	令和2年度岸和田市国民健康保険事業特別会計予算
議案第26号	岸和田市手数料条例の一部改正について マイナンバー法の改正により、通知カードが廃止されることから、通知カードの再交付に係る手数料の規定を削除するものです。	議案第37号	令和2年度岸和田市自転車競技事業特別会計予算
		議案第39号	令和2年度岸和田市後期高齢者医療特別会計予算
		議案第40号	令和2年度岸和田市介護保険事業特別会計予算
		議案第42号	令和2年度岸和田市上水道事業会計予算
		議案第43号	令和2年度岸和田市下水道事業会計予算
		議案第44号	令和2年度岸和田市病院事業会計予算

会派代表による

要旨

総括質問

令和2年第1回定例会では、6会派の代表が総括質問を行いました(発言順に掲載)。

総括質問・一般質問の様子は、市議会ウェブサイトの録画中継のページでご覧いただけます。

URL: <http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/gikai/180rokuga.html>

また、5月下旬以降、市立図書館や広報広聴課の情報公開コーナー、市議会ウェブサイトの「会議録の閲覧」のページでも詳細をご覧ください。

新庁舎建設費縮減のため市民センターの活用を！

その他の質問 ○持続可能な市政運営を実現するための「行財政改革」
○教育・子育ての充実に向けた取組み



誠和クラブ 代表
鳥居 宏次

本市では、きめ細かな市民サービスを目的として、各地域に5つの市民センターが建設されてきた。今後、高齢化が進み、3人に1人が65歳以上となると予想され、運転免許証の返納などにより、市役所へ行くことが困難な市民が増加すると考える。この先、ICT技術の大幅な進歩により、近くの市民センターで、市役所とのネットワークを使って、今以上に申請手続や窓口相談が可能になると考える。市民センターでは、パソコン端末の操作を教える職員を配置すれば、市役所まで行かなくてもほとんどの手続をすることが可能となる。新庁舎建設費の縮減を実現するため、市民センターの活用を提案する。

丁寧な説明とスピード感ある市政運営を！

次世代政策会議 代表
河合 馨



①待機児童解消のためにも、まずは市域全体の構想を示し、幼稚園・保育所を早期に再編されたい。
②子ども達の学力向上のため、教育委員会、学校、保護者が連携し、継続した取り組みを行われない。
③斎場の早期建て替えに向け、貝塚市との共同設置が、本市単独での設置かを、本市の実情に合わせ主体的に決定されたい。
④活力ある組織とするために、職員がアイデアなどを広く提案できる制度を活用し、やりがいを出創すること、人材育成に努められたい。
⑤南海トラフ巨大地震などへの対策は、日本一災害に強いまちを目指すためにも、普段から緊張感を持って訓練などに取り組まれない。

待機児童を解消するために

その他の質問 ○教育・子育ての充実
○まちのにぎわいづくり ほか

大阪維新の会 代表
堂本 啓祐



今年2月に「岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針」に基づき、第1期再編個別計画が発表された。市内3カ所で民営の認定こども園を設置するとしている。現在、潜在的な待機児童が約300人発生している本市にとっては、これを解消することが喫緊の課題であり、幼保の再編を進める最大の目的でもある。この3月議会でも方向性が定まったとしても、実際に開園できるのは、2年先の令和4年度になる。説明会で多くの市民から指摘があった、公立施設のあり方や市全体の計画については、引き続き検討する必要があるものの、今回の個別計画については、これ以上待機児童を増やさないために、着実な実施を要望する。

市立幼稚園・保育所の再編の見直しを求める

その他の質問 ○教育

日本共産党 代表
中井 良介



市立幼稚園・保育所は就学前教育と保育において重要な役割をこれまでも現在も果たしている。市の再編方針では一切触れていない公立の役割をどう考えているのか、また全てを民間に委ねるのか、と質問したが、必要があれば残す、というあいまいな回答であった。昨年12月に再編方針を決め、1月に市民説明会をしたばかりで、廃止する幼稚園・保育所の保護者への説明会を予定している。このような性急なやり方はやめるべきである。
また、公と民が力を合わせることが大事であるが、他市に比べ民間への支援が不十分であるとの指摘には、障害児保育への補助や保育士確保への支援を強める、と答弁があった。

市立幼稚園及び保育所再編について

その他の質問 ○岸和田市立小・中学校の適正規模及び適正配置
○市庁舎の建て替え ほか

公明党 代表
友永 修



再編方針では、市立の幼稚園と保育所を集約し、民間の認定こども園へ再編することだが、個別計画によると、岸和田北部圏域では再編対象が保育所のみ、葛城の谷・岸和田中部圏域では対象が明確にされておらず、方針と合っていない。市民が求めているのは全体像であり、今後の個別計画の進め方である。市は再編方針で全体像を示したと言うが、その時々都合の良い解釈で再編を進めるのではないのか、との不安は全く解消されていない。民間活用の方針は大いに理解できるが、市民が納得できる計画となるよう、全体像を示すこと、再編方針の内容の見直しも含め再検討することを強く要望する。

駅周辺の利便性の向上について

その他の質問 ○幼児教育と保育のあり方の見直し
○小中学校の規模の適正化と適正配置の推進 ほか

きしわだ未来 代表
反甫 旭



【問】JR久米田駅周辺は、久米田駅東西アクセス改善基本構想に基づき、駅東西の駅前広場、アクセス道路、駅西側の改札口などの整備を進めている。駅西側は宅地開発も行われており、改札口が開設されれば、久米田北一踏切の安全性も向上するが、今後のスケジュールはどのようなものになるのか。
【答】令和2年度は、引き続き土地取得及び支障建物などの移転交渉に取り組む。並行して、西側駅前広場、アクセス道路、歩行者用通路は詳細設計を行う。また、駅西側改札口は、基本設計及び土質調査を実施し、開設に向けた準備を進める。4年度の完成に向け、駅東西の整備を一体的に進めていく。

庁舎建設特別委員会 中間報告

本委員会は、令和元年6月の第2回定例会で設置され、1月10日には「新庁舎建設に関する意見書」を議長から市長に提出するなど、新庁舎の建設について調査を行ってきました。

しかし、庁舎建替庁内検討委員会の基本計画(案)と合意に至らなかったため、次の4項目の課題を市民に提示する必要があると判断しました。

1. 庁舎の配置
防災拠点としての位置付け、市民の利便性、安全性、業務の効率化、維持管理コストなどの観点から調査した結果、基本計画(案)の新設2棟・既設2棟(別館・第2別館)を庁舎とする4棟分散型では、課題改善の効果は低いと考える。新設1棟・既設1棟(別館)を庁舎とする2棟集約型
2. 事業期間の短縮
事業期間が3年度から10年度までの8年間と長期であるが、新設1棟の集約型とすることで、期間を3年短縮できる。さらなる民間事業者の提案を求めること。
3. 仮庁舎の配置
新庁舎建設中の仮庁舎は、全て仮設庁舎の建設による対応となっているが、使用していない市有施設の活用や、民間施設の借り上げを行い、仮設費の縮減に努めること。
4. 事業費の算定
地下駐車場部分の建設費を執務スペースと同額の建設単価としているなど、いまだ精査すべきと思われる点が多数見受けられるため、これまで以上に事業費の精査を進め、さらなる総事業費の縮減に努めること。

市政に関する一般質問



殿本 マリ子
(誠和クラブ)

観光事業について
岸和田城における観光事業について、次の点を要望・提案する。
①桜の季節には、お城まつりや泉州の物産展が開催され、多くの来場者がある。城近隣の店舗でも手軽に食事ができるよう要望する。
②こどもの日には、不用になった鯉のぼりを集め、城から堀にかけて泳がせることを提案する。
③昨年、プロジェクトションマップピングが実施されたが、あまり周知されておらず残念であった。人目に付く告知方法を考えるよう要望する。
④NHK大河ドラマで注目されている、明智光秀公の肖像画が、本市内の寺院所蔵であることを通じてさらなる本市のPRを要望する。



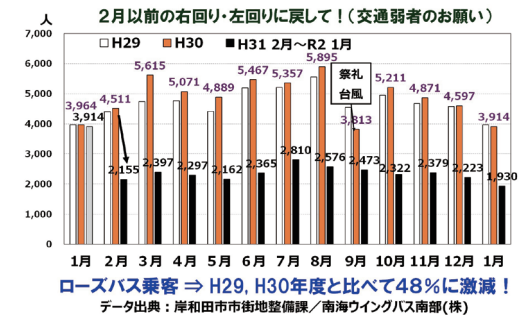
宇野 真悟
(大阪維新の会)

ふるさと寄附について
【問】平成30年度の本市のふるさと寄附の金額は6億円強と例年に比べて大幅に増加したが、令和元年度は、地方税法の改正による返礼品の見直しの結果、1月末時点で約57%減となっている。寄附額を増やすためには、体験型を含め、より魅力的な返礼品を取りそろえることが必要である。元年度はどのような取り組みを行ったのか。
【答】牛滝温泉四季まつりのペア宿泊券や岸和田駅前通商店街にあるアヤコ食堂のお食事券に加え、全国で唯一の返礼品として、幅広い世代に人気のあるヨギボーのビーズクッションの取り扱いを始めた。寄附の拡大に向け、今後も工夫を凝らしながら、積極的に取り組む。



井舎 英生
(次世代政策会議)

誰のためのローズバスか？／幼児教育・保育
①ローズバスについて、市は「利用者の数の伸び悩みが課題」と言うが、間違った交通政策で乗れない人が増えている。交通弱者の不満もたまっている。間違いがあれば改善するという姿勢で臨むべきである。
②子どもの教育・保育は、最上位の公共政策であり、幼小連携・接続の推進は、公立、民間ともに教育委員会が主導すべきである。



岡林 憲二
(誠和クラブ)

公用車のドライブレコーダーについて
近年、ドライブレコーダーや防犯カメラの普及により、交通事故の映像をテレビやインターネットなどで目にする機会が増えた。本市でも非常に多くの事故が起きており、1年間で千件以上に上る。自動車を巻き込む環境は、自動運転などの発展により激変する可能性があるが、結局のところ、安全な運転は人間の目視に頼らざるを得ないと考える。
ドライブレコーダーは運転者の交通安全意識の向上、事故発生時の記録・証拠としての活用に加え、動く防犯カメラとしても役立つ。交通安全の確保のため、公用車へのドライブレコーダーの導入をさらに進め、本市の交通安全対策をより充実させるよう強く要望する。



烏野 隆生
(きしわだ未来)

100周年事業はオール岸和田で
【問】本市は、令和4年11月1日に市制施行100周年を迎えるが、それに向けた取り組みについて、元年度は市としての考えや事業の方向性を取りまとめた基本方針の策定に取り組んでいるとのことである。過去の周年事業で実施してきたこと、今後どのような体制で進めていく予定なのかを聞きたい。
【答】おおむね10年ごとの節目に、時代背景や当時の状況に応じて各記念事業や冠事業を実施してきた。100周年に向けては、市民との協働で実施するということこれまでの考え方を踏襲し、市だけでなく、産業、福祉、教育、文化などさまざまな分野の団体が参画した実行委員会を設置し、オール岸和田で推進していきたい。



雪本 清浩
(次世代政策会議)

介護入所施設のさらなる拡充を
介護保険制度が始まって、約20年がたつ。本市の65歳以上の高齢者数と高齢化率は、本年1月末現在5万3,394人で27.5%となっており、そのうち要支援を含む介護認定を受けている人は、2割強の1万9,600人に及んでいる。
一方、市内の入所施設の定員は、特別養護老人ホームが450人、介護老人保健施設が300人などである。特別養護老人ホームの入所要件は、原則要介護3以上であるが、本市では349人が認定を受けている。府の調査でも、1年以内に市内の特別養護老人ホームへの入所を希望する人は1,622人に上った。施設の不足は明白であるため、早急な対応を要望する。

6月定例会の日程(予定)

- 6月15日(月) 本会議
- 16日(火) 本会議
- 18日(木) 文教民生常任委員会
- 19日(金) 事業常任委員会
- 22日(月) 総務常任委員会
- 23日(火) 庁舎建設特別委員会
- 24日(水) 本会議

※開会時間は午前10時の予定です。
※傍聴される方は、当日、市役所新館3階議会議室受付までお越しください。

議会中継を実施します

15日(月)と16日(火)の本会議を、テレビ岸和田で生中継します。再放送は、20日(土)と21日(日)です。

また、ラヂオきしわだでも録音放送します。詳細は、各放送局のウェブサイトをご覧ください。



市長への提言



令和元年度の政策討論会の内容を取りまとめた提言書を、4月17日に永野市長へ提出しました。

- ・企業誘致
- ・交通弱者への対応
- ・農漁業の産業化

提言書は市議会ウェブサイトからご覧いただけます。



京西 且哲
(次世代政策会議)

民間活用で、みどりとスポーツの空間をつくる
公園の風景にとけこみ四季を通じて、日々の暮らしをさらに豊かにする。吹田市が千里南公園にPark PFIで誘致したカフェのコンセプトである。一方、本市の中央公園は、まちなかのみどり空間として愛されているが、民間活用で時代に合った管理運営手法とすべきである。
また、旧港地区周辺の魅力づくり構想は、ベイサイドをスポーツ・レクリエーションゾーンに位置付けて、企業誘致を計画しているが、規制が障壁となっている。府所有地であり、規制緩和に向けた協議を求める。



国際競技もできるカンカンウォール